



2020年2月13日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司
 (コード番号：8705)
 問合せ先
 役職・氏名 取 締 役 増 田 潤 治
 電 話 03-5543-8705

2020年3月期第3四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

2020年3月期第3四半期累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)の連結業績につきましては現在集計中ではありますが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第3四半期累計期間の連結業績見込みおよび業績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前年同期実績 (2019年3月期第3四半期累計期間) (A)	1,951	△52	△36	△35
当期実績見込み (2020年3月期第3四半期累計期間) (B)	2,030	△304	△281	23
増 減 額 (B-A)	79	△252	△245	58
増 減 率 (%)	4.0	—	—	—
(ご参考) 2019年3月期実績	2,666	15	37	168

2. 差異が生じた理由

当第3四半期連結累計期間における商品市況は、金は6月中旬以降は米国の利下げ、米中貿易摩擦の激化や中東の地政学的リスクの高まりを背景に大きく上昇しましたが、9月以降は方向感無くレンジ内での推移となりました。原油は米中の貿易摩擦によりエネルギー需要が減退するとの観測から8月下旬にかけて下落しましたが、OPECプラスの協調減産継続により12月末にかけて上昇しました。これらの背景から、全国市場売買高は29,182千枚(前年同期比87.9%)となりました。

このような状況のなか、当社グループにおける商品取引関連事業の受取手数料は474百万円(前年同期比44.9%)にとどまりましたが、くりっく関連事業の受取手数料で1,201百万円(前年同期比347.1%)を計上したこともあり、受取手数料の合計は1,777百万円(前年同期比120.4%)となりました。また、売買損益につきましては、有価証券関連事業の売買損益が34百万円の利益(前年同期比17.7%)にとどまったこともあり、合計で167百万円の利益(前年同期比43.2%)となりました。

この結果、営業収益は2,030百万円(前年同期比104.0%)となる見込みであります。また営業費用につきましては、2,334百万円(前年同期比116.5%)となる見込みであります。これらにより、営業損失は304百万円となり、経常損失は281百万円を計上する見込みであります。

これに加えて、投資有価証券売却益312百万円を特別利益に計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は23百万円を計上する見込みであります。

以 上